

**平成23年度  
褐毛和種生産費調査  
報告書**

平成24年2月

**alic** 独立行政法人農畜産業振興機構

## はじめに

この報告書は、社団法人中央畜産会に委託して実施した平成 23 年度褐毛和種生産費調査の成果を取りまとめたものである。

褐毛和種は、放牧による低コスト生産に適した特性を有し、中山間地域の農業における役割と食料自給率の向上の視点を踏まえたとき、その生産の維持、発展を図ることは、これからの地域経済、国土保全の上からも極めて重要である。

このような状況下において、黒毛和種、乳用種に比べてその生産実態についてのデータが非常に少ないため、子牛・肥育牛の生産費用等について、その基礎データを把握し、関係施策の推進に資することを目的として調査結果を取りまとめた。

最後に、本調査の実施にあたって、ご協力いただいた調査対象農家、関係者各位に深甚の謝意を表す次第である。

本報告書が褐毛和種の生産農家及び関係者に広くご活用いただけ今後における何らかの参考になれば幸いである。

平成 24 年 2 月

独立行政法人農畜産業振興機構

## 目次

調査の概要	1
1. 調査目的	2
2. 調査実施者	2
3. 調査対象経営	2
4. 調査対象期間	3
5. 調査内容	3
1) 経営概況	3
2) 生産費用と生産原価	3
3) 経営成果	3
6. 調査方法	3
7. 調査の流れ	3
8. 調査項目毎の取りまとめ方法	3
1) 取りまとめの仕方	3
2) 表中の階層間の頭数の区切り	4
9. 褐毛和種の特徴	4
10. 調査結果についての留意事項	4
1) 調査対象の選定	5
2) 調査手法	5
<b>【要約版】</b>	<b>7</b>
1. 調査の概要	8
2. 調査結果	8
<b>【詳細版】</b>	<b>11</b>
I 調査結果	12
1. 繁殖経営	12
1) 経営の概況（1戸当たり）	12
2) 生産原価（出荷・保留子牛1頭当たり）	12
3) その他の経営実績	13
4) 繁殖経営の頭数規模別動向	14
5) 他統計との比較	16
2. 肥育経営	17
1) 肥育経営の概要（1戸当たり）	17
2) 生産原価（出荷肥育牛1頭当たり）	17
3) その他の経営実績	18
4) 肥育牛の頭数規模別動向	20

5) 他統計との比較.....	21
-----------------	----

## II 集計結果表

別表 1-1 家族及び労働力（褐毛和種繁殖経営）.....	24
別表 1-2 常時飼養頭数（褐毛和種繁殖経営）.....	25
別表 1-3 経営供用土地面積（褐毛和種繁殖経営）.....	25
別表 1-4 農家の収入（褐毛和種繁殖経営）.....	26
別表 1-5 当期生産費用及び生産原価（出荷・保留子牛 1 頭当たり） （褐毛和種繁殖経営）.....	27
別表 1-6 その他の経営実績（褐毛和種繁殖経営）.....	28
別表 2-1 家族及び労働力（褐毛和種肥育経営）.....	29
別表 2-2 常時飼養頭数（褐毛和種肥育経営）.....	30
別表 2-3 経営供用土地面積（褐毛和種肥育経営）.....	30
別表 2-4 農家の収入（褐毛和種肥育経営）.....	31
別表 2-5 当期生産費用及び生産原価（出荷肥育牛 1 頭当たり） （褐毛和種肥育経営）.....	32
別表 2-6 その他の経営実績（褐毛和種肥育経営）.....	33

## 調査の概要

## 調査の概要

### 1. 調査目的

地方特定品種である褐毛和種の生産については、生産コストをはじめその実態が十分に把握されていないところである。

本調査では、褐毛和種の繁殖・肥育生産に係る費用等を調査し、その結果を取りまとめて、生産現場の収益性等の検討に必要な資料の整備に資することを目的としている。

### 2. 調査実施者

社団法人中央畜産会

### 3. 調査対象経営

下表のとおり褐毛和種の繁殖及び肥育を行う肉用牛飼養農家（経営）50戸を対象とした。

調査対象道県及び道県別の調査戸数は畜産統計（農林水産省統計部）の褐毛和種飼養戸数・頭数の分布を勘案し、下表の7道県とした。この地域選択は褐毛和種頭数の分布に加え、経済調査は調査員の調査能力及び調査対象農家との信頼を必要とするためその状況を確認した上で中央畜産会で決定した。

対象地域及び調査戸数

地域	調査戸数		
	繁殖経営	肥育経営	計
北海道	7	10	17
岩手県	1		1
秋田県		1	1
高知県	2	3	5
福岡県		4	4
長崎県	4		4
熊本県	11	7	18
計	25	25	50

50戸の調査対象農家には、事前に説明と調査協力の依頼をし、了解のもとで実施した。そのため、当初に計画した調査戸数すべてに調査をかけ、調査票の回収率は100%、有効回答率も100%であった。

#### 4. 調査対象期間

平成22年4月1日から平成23年3月31日までとした。

#### 5. 調査内容

##### 1) 経営概況

農業労働力の構成、家畜の飼養状況、経営農用地面積、作目及び収入構成について調査を行った。

##### 2) 生産費用と生産原価

褐毛和種肉用牛の生産に係る各種経費について調査を行った。

##### 3) 経営成果

繁殖部門については、經常所得、子牛販売・保留頭数、平均分娩間隔、出荷子牛の出荷時月齢・体重、出荷子牛1頭当たり平均販売価格、生産子牛の常時頭数事故率、飼養管理労働時間について調査を行った。

肥育部門については、經常所得、肥育牛出荷頭数、出荷肥育牛1頭当たり平均販売価格・もと畜取得価格、平均肥育開始月齢・体重及び出荷時月齢・体重、出荷肥育牛の平均肥育日数・1日当たり増体重・平均枝肉重量及び単価・平均肥育回転率、肥育牛常時頭数事故率、飼養管理労働時間について調査を行った。

#### 6. 調査方法

調査は、中央畜産会において調査票を作成し、地方畜産協会等を通じて調査農家への訪問・面接により聞き取り実施した。

#### 7. 調査の流れ

- 9～10月上旬 地方畜産協会等から調査環境のヒアリング
- 10～11月上旬 地方畜産協会等による調査農家の選定、調査票設計・作成
- 11～12月下旬 地方畜産協会等による調査の実施、中央畜産会への報告
- ～1月下旬 中央畜産会での調査票審査、入力、集計
- 1月下旬～ 分析・とりまとめ

#### 8. 調査項目毎の取りまとめ方法

##### 1) 取りまとめの仕方

調査結果は、褐毛和種を繁殖と肥育の経営類型別に取りまとめたが、熊本系と高知系を区分しないで両系を合わせた取り扱いとしている。

集計の方法は、地域性と規模間格差を把握するために、地域分析は北海道、県、全国の区分で行い、規模間格差は繁殖と肥育では頭数規模が異なるため、別々の区分を採用した。ただし、規模間格差分析は、調査対象が少ないということもあり必ずしも有効とは言えないが参考までに行うこととした。

## 2) 表中の階層間の頭数の区切り

### <繁殖経営の区分>

区分	範囲	文章中の標記
～9頭	10頭未満	9頭以下
10～19頭	10頭以上 20頭未満	10～19頭
20～29頭	20頭以上 30頭未満	20～29頭
30頭～	30頭以上	30頭以上

### <肥育経営の区分>

区分	範囲	文章中の標記
～29頭	30頭未満	30頭以下
30～49頭	30頭以上 50頭未満	30～49頭
50～99頭	50頭以上 100頭未満	50～99頭
100頭以上	100頭以上	100頭以上

## 9. 褐毛和種の特徴

調査対象とした褐毛和種の特徴を整理しておくとおりのとおりである。

褐毛和種のうち熊本系は、明治中期、韓牛にシンメンタール種を交配し、選抜・淘汰を重ねて改良され、現在のような大型で肉量の優れたものになった。

一方、高知系は、明治初期、韓牛にシンメンタール種を交配し、その後再度、韓牛による戻し交配のもとで改良が加えられ、温順で早熟、早肥に優れたものとして今日に至っている。

主産地は、熊本県での飼養が最も多く、次いで高知県、長崎県及び北海道・東北地方の一部において飼養されている。

飼養頭数は、雌牛が平成元年までは増加傾向にあったが、それ以降は減少が続いている。平成22年2月現在の飼養頭数は、雌牛で15,691頭で平成20年(18,550頭)と比べて2,859頭(15%)減少している。

一方、肥育牛は11,035頭で平成20年(11,870頭)と比べて835頭減少(7%)している。  
[家畜改良関係資料より(平成23年3月)]

## 10. 調査結果についての留意事項

褐毛和種については、わが国の肉用牛の主体をなす黒毛和種及び乳用種のように種々の関連資料が整備されていない。

本調査は、生産費を中心とした経営実態調査であり、その性格から黒毛和種につい



ての農林水産省生産費調査（以下「生産費調査」という。）と同様の調査とみなされて利用されることが考えられる。この場合、本調査の事例数の少ないこと、調査方法の違い等から、農林水産省生産費調査と同様に利用することは課題も多いので、特に以下の点について留意いただきたい。

### 1) 調査対象の選定

生産費調査は、目標精度を設定して最適配分（もしくは比例配分）された数の調査農家を母集団から任意系統（無作為）抽出により選定しており、代表性のある統計数値として整備され利用されている。

他方、本調査は、類型別には調査農家数も少なく、主産地を中心に協力の得られる農家を有意に選定しているため、事例調査結果として利用していただきたい。

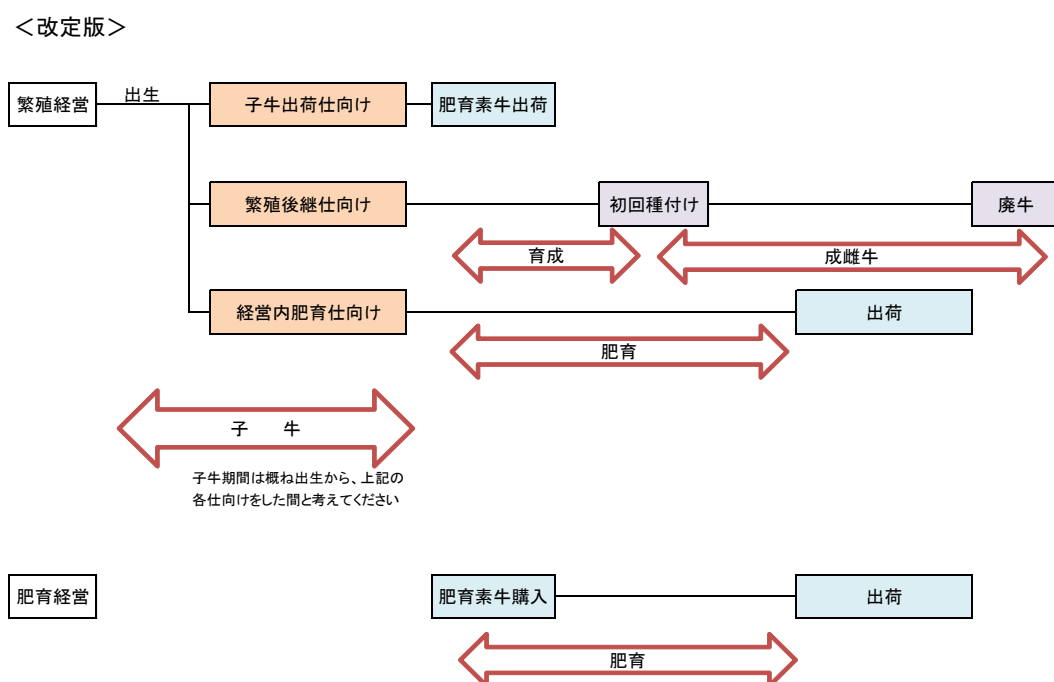
### 2) 調査手法

生産費調査は、当年度の主産物（販売牛）1頭当たりの生産費を算出しており、肥育牛のように生産期間が長期にわたるものについては、過年度の肥育開始時からの経費の積み上げとなっている。

他方、本調査は地方畜産協会等の経営診断方式（当年度損益の算出）により、当年度の部門経費を算出し、これを当年度販売牛頭数（繁殖経営は更に自家保留頭数を加えたもの）で除して1頭当たりの経費を算出している。この場合、主要資材（もと畜、飼料等）価格の年次変動が少なく、また、飼養頭数に大きな変動がなければ、近似的に生産費とみなすことができるが、変動が大きい場合には注意が必要である。

なお、家畜の飼養状況の把握の上で、下記のと通りの肥育牛、育成牛、子牛の定義を調査者に示した。

「家畜の飼養状況」に関する定義について  
 - 育成牛、子牛、肥育牛の定義 -



# 要 約 版

## 1. 調査の概要

本調査では、褐毛和種生産農家 50 戸（繁殖経営 25 戸、肥育経営 25 戸）を対象として、それぞれの経営概況と繁殖経営にあつては出荷・保留子牛 1 頭当たり生産費、肥育経営にあつては肥育牛・正常出荷 1 頭当たり生産費を調査した。

調査結果の取りまとめに当たり、それぞれの経営について、地域区分（全国、北海道、県）別集計と、地域区分別の経営規模別集計を行ったが、調査戸数が少ないこともあり必ずしも適切ではないが、参考までに行った。

## 2. 調査結果

### <繁殖経営の結果>

#### (1) 繁殖農家の経営概況

本調査の対象となった繁殖農家の経営概要は、全国平均では、繁殖雌牛飼養頭数 18.4 頭、子牛正常出荷頭数 12.3 頭、自家保留頭数 1.5 頭であった。

これを地域別にみると、総じて北海道の経営が県の経営に比べて大きく、繁殖雌牛飼養頭数では 24%、子牛正常出荷頭数では 7%、自家保留頭数では 118%高くなっている。畜産経営の規模にそれほど大きな差はみられない。

しかしながら、農業収入の側面をみると、北海道は 29,969 千円に対して県では 5,964 千円と北海道の規模は県のほぼ 5 倍であった。また、農業収入に占める肉用牛の収入は北海道 20%、県では 67%と県は肉用牛への依存が高いという特徴がある。

図 概要 1-1 調査褐毛和種の繁殖経営の概況

(単位：頭)

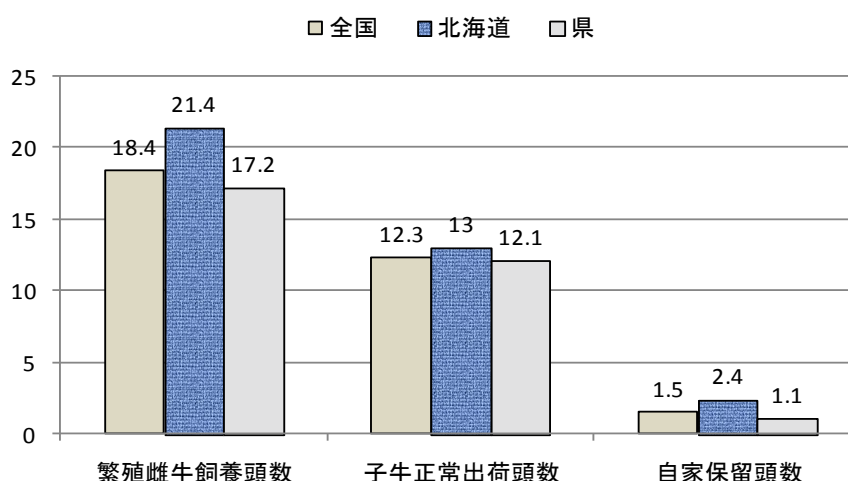


表 概要 1-1 調査農家の農業収入

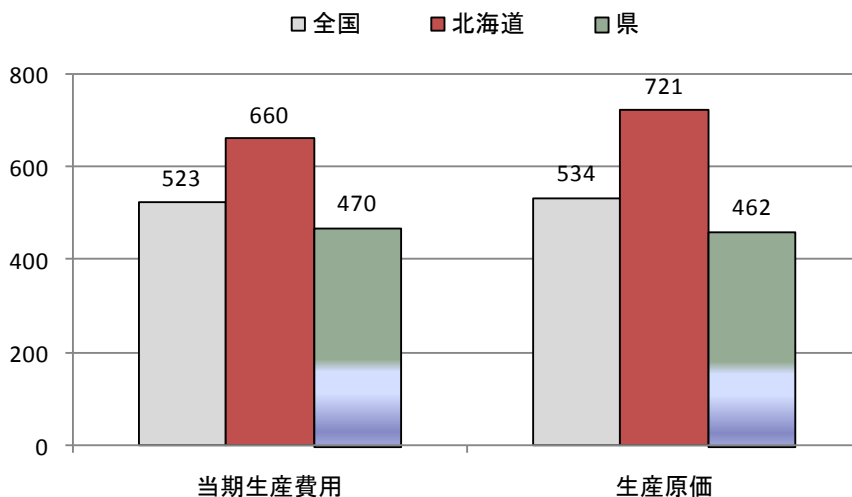
	農業収入 (千円)	うち肉用牛 収入 (千円)	農業収入に占める肉用牛収入の 比率 (%)
全国	12,686	4,532	35.7
北海道	29,969	5,857	19.5
県	5,964	4,017	67.4

(2)生産費用（褐毛和種子牛出荷・保留1頭当たり）

直接的な生産費用である当期生産費用は北海道が660千円で県が470千円と北海道が県よりも40%高かった。また、評価額の増減に利子、地代を加えた生産原価では北海道が県よりも5割以上高かった。

なお、生産原価について飼養頭数規模別にみると、経営規模が大きいほど低い傾向が表れている（別表1-5）。

図 概要1-2 出荷・保留1頭当たり生産費用の比較（単位：千円）



<肥育経営の結果>

(1)肥育農家の経営概況

本調査の対象となった肥育農家の経営概要は、全国平均では、飼養頭数80頭、このうち褐毛和種は72頭であった。

これを地域別にみると、肥育牛飼養頭数では北海道の57頭に対して、県では95頭と県の規模の方が大きかった。

また、農業収入は、北海道の40,215千円に対して県は46,817千円と県の方が16%高かった。さらに農業収入に占める畜産収入の比率をみると、北海道は85%、県は97%と繁殖経営と比べて畜産依存が強い結果となった。

図 概要2-1 褐毛和種肥育経営の肉牛飼養頭数（単位：頭）

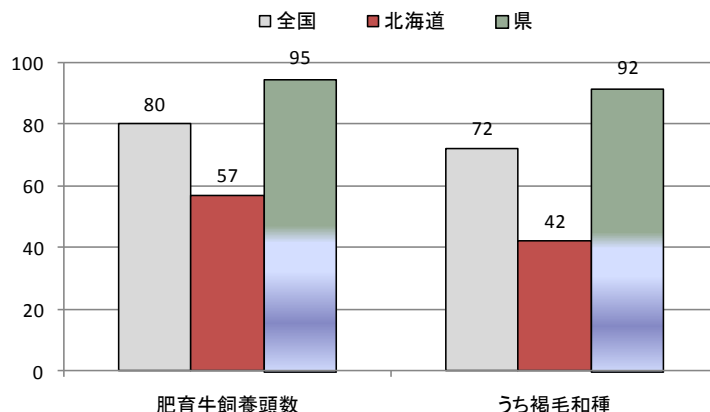


表 概要 2 - 1 褐毛和種肥育経営の農業収入と畜産部門収入

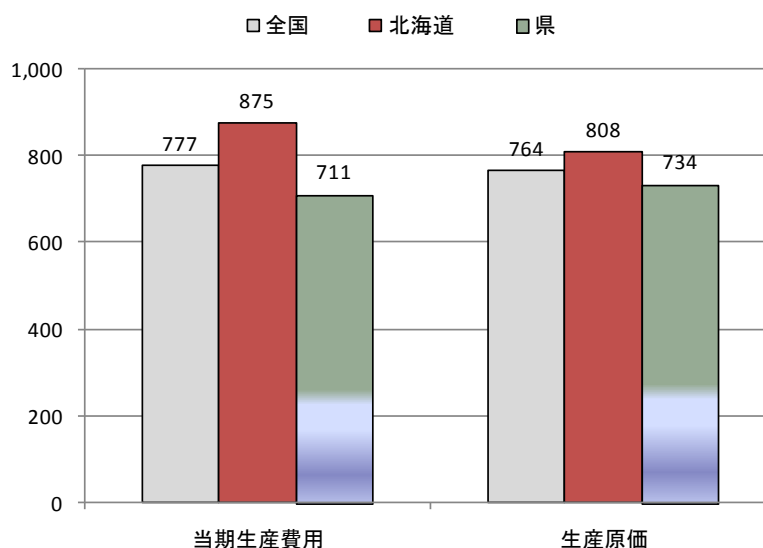
	農業収入 (千円)	うち畜産収 入 (千円)	畜産収入比率 (%)
全国	44,176	40,826	92.4
北海道	40,215	34,127	84.9
県	46,817	45,404	97.0

(2)生産費用出荷 (1頭当たり)

褐毛和種肥育牛 (出荷 1頭当たり) の生産費は、当期生産費用では北海道の 875 千円に  
対して、県では 711 千円と 23%、生産原価では 10%といずれも北海道が高かった。

図 概要 2 - 2 肥育牛 1頭当たりの生産費

(単位: 円)



当期費用の費目構成は、繁殖経営の場合は労働費と飼料費でほぼ半分以上を占めるが、  
肥育経営ではもと畜費が大きな割合を占めることとなる。全国の 32%に対して、北海  
道 23%、県 40%とその構成比に差が表れている。

なお、肥育牛飼養頭数規模別に生産原価をみると、49 頭以下で最も高く、100~149  
頭で最も低くなっている (別表 2 - 5)。

# 詳 細 版

## I. 調査結果

### 1 繁殖経営

調査・集計事例数：25 件

#### 1) 経営の概況（1戸当たり）

繁殖雌牛飼養頭数は、全国平均で18.4頭、北海道では21.4頭となっており、肉専用種の繁殖経営としては、やや大きい階層に属する。農業就業者も複数確保されており、全国平均で2.7人、北海道で2.5人となっている。

経営耕地面積は全国平均で548a、北海道では1,036aとなっており、北海道においては、立地条件を生かし、放牧を取り入れた経営も多い。

農業収入をみると、全国平均は12,686千円であり、そのうち肉用牛部門で約4,532千円となっている。褐毛和種の飼養農家は、繁殖主体に米、野菜等耕作部門を加えた複合経営を行っており、厳しい肉用牛生産の現状を下支えしていることが分かる。地域別の特徴は、農業収入が北海道は約29,969千円であるのに対して、県は5,964千円と北海道の2割の水準であることである。また、農業収入に占める畜産収入の比率が北海道では20%であるのに対して、県では67%と畜産部門への依存度が高いのが特徴である。

表1-1 経営の概況

区分	繁殖雌牛飼養頭数(頭)	農業就業者(人)	経営耕地面積(a)	牧草地(a)	農業収入(千円)	
						うち肉用牛
全国	18.4	2.7	548	285	12,686	4,532
北海道	21.4	2.5	1,036	629	29,969	5,857
県	17.2	2.7	359	151	5,964	4,017

#### 2) 生産原価（出荷・保留子牛1頭当たり）

出荷・保留子牛1頭当たりの当期生産費用は、全国平均で523千円、北海道は660千円で、県平均470千円に比べ40%高い結果であった。生産原価は、全国平均で534千円、北海道で721千円、県で462千円となっている。

当期生産費用に占める飼料費比率は、北海道では14.6%に対して県では購入飼料費が高いことから27.8%と北海道の2倍となった。労働費の比率は、北海道で32.7%、県で32.9%となっており、飼料費と労働費の合計比率は北海道では47.3%であるのに対して、県では60.7%と飼料費による経営差がみられる。

表 1-2 生産原価（出荷・保留子牛 1 頭当たり）

単位：円

	飼料費			労働費	減価償却費	その他	当期生産費用	生産原価
	購入	自給	計					
全国	99,460	21,730	121,190	166,274	88,513	147,108	523,085	534,405
北海道	77,324	19,243	96,567	195,957	114,754	252,565	659,843	721,375
県	108,068	22,697	130,765	154,731	78,308	106,098	469,902	461,694

表 1-3 当期生産費用の費用構成比

単位：%

	飼料費	労働費	減価償却費	その他	当期生産費用
全国	23.2	31.8	16.9	28.1	100.0
北海道	14.6	32.7	17.4	38.3	100.0
県	27.8	32.9	16.7	22.6	100.0

### 3) その他の経営実績

#### ①生産技術

子牛の出荷時月齢は全国平均で雌 9.7 カ月、去勢・雄 9.3 カ月であった。北海道においては若干の短縮傾向がみられ、雌 9.2 カ月、去勢・雄 8.6 カ月であった。

一方、出荷時体重をみると、全国平均で雌約 290 kg、去勢・雄約 303 kgであった。北海道においては、前述のとおり、出荷月齢の短縮傾向がみられているものの、雌約 307 kg、去勢・雄約 308 kgであった。

#### ②1 頭当たりの所得

子牛 1 頭当たりの販売価格は、全国平均で褐毛和種の雌で約 260 千円、去勢・雄で約 318 千円となっており、去勢・雄は雌に比べて 2 割以上の高値で取引が行われている。

成雌牛 1 頭当たり年間所得は、販売価格の低迷及び飼料費価格の上昇等の影響を受け、全国平均で約 -16 千円、北海道では約 -120 千円という極めて厳しい経営状況となった。



表 1-4 その他の経営実績

区分		単位	全国	北海道	県	
成雌牛1頭当たり年間所得		円	-15,968	-118,347	23,846	
子牛1頭当たり	出荷時月齢	雌	月	9.7	9.2	9.9
		去勢・雄	9.3	8.6	9.5	
	出荷時体重	雌	kg	290.1	307.6	283.3
		去勢・雄	303.6	308.2	302.0	
	販売価格	雌	円	260,498	258,563	261,251
		去勢・雄	317,582	315,495	318,319	

#### 4) 繁殖経営の頭数規模別動向

頭数規模別の分析に当たり、前提として、調査戸数が25戸と少ないことと、北海道と県とでは生産構造に差がみられることから、頭数規模分類による集計と分析は必ずしも適切ではないが、参考までに集計をし概観してみる。繁殖経営の頭数規模は成雌牛頭数で分類した。

繁殖経営の特徴の一つは、経営主の年齢である。肥育経営のそれが60歳であるのに対して繁殖経営では57歳と若干ながら若い。飼養頭数規模でみると9頭以下階層が54歳と最も若く、中間規模の10～19歳階層、20～29歳階層でそれぞれ60歳、57歳であった（別表1-1）。

農業収入はおおむね頭数規模が大きい階層ほど高くなるが、それに伴い畜産収入比率も高くなっており、規模が大きくなるほど専門的畜産経営の傾向が強くなっていることが分かる。

図 1-1 経営規模別の農業収入（千円）と畜産収入比率（%）

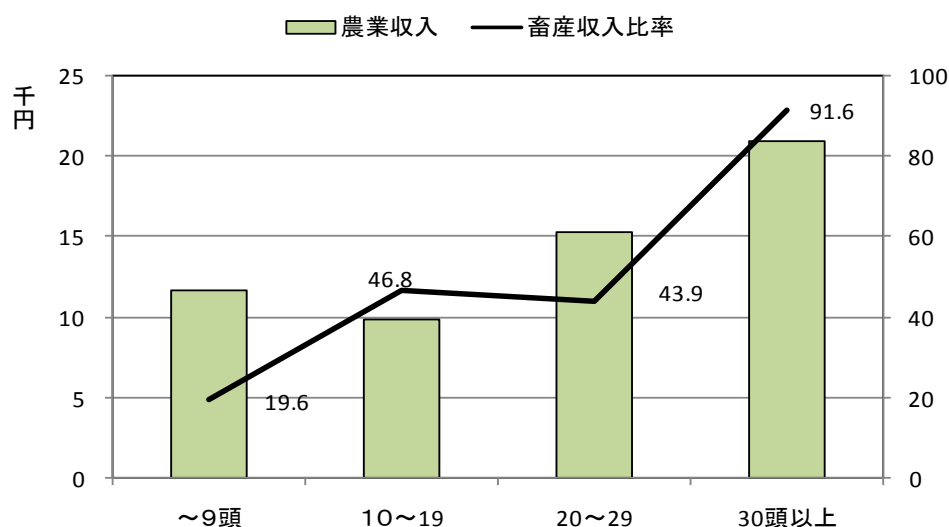
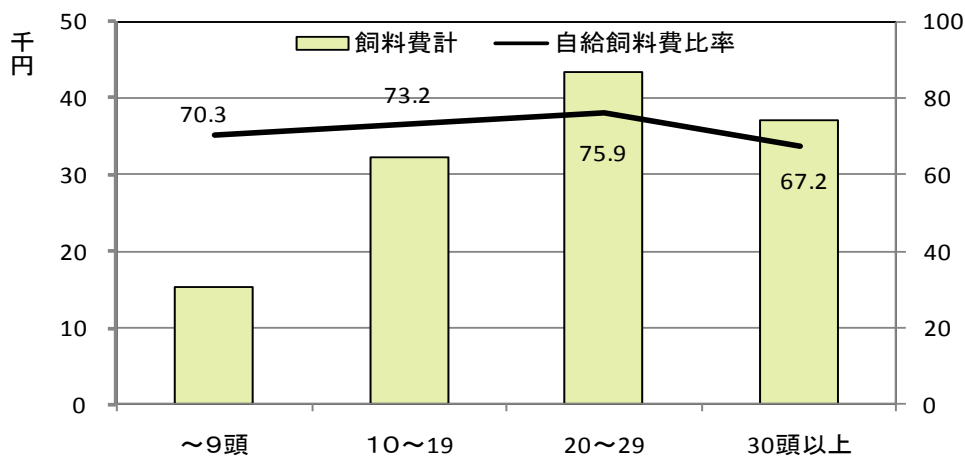


図1-2 経営規模別の飼料費と自給飼料費比率  
(出荷・保留子牛1頭当たり 円、%)

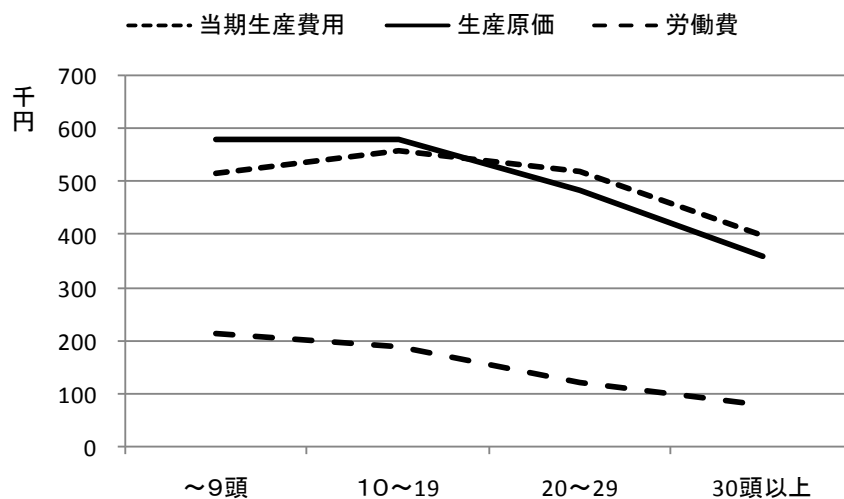


飼料費（出荷・保留子牛1頭当たり）を規模別にみると、20～29頭階層で最も高く、自給飼料費比率もやや右上がりとなっている。30頭以上階層では飼料費も下がっているが同時に自給飼料比率も下がっている。全体としては自給飼料費比率は規模別には大きな差はみられない。

また、労働費については9頭以下層が最も高く、出荷・保留子牛1頭当たり212,696円であるが、規模が大きくなるほど低下し、30頭以上層では64%下がり77,040円であった（図1-3）

また、出荷・保留子牛1頭当たりの当期生産費用は、9頭以下から10～19頭層まではやや高まっているが、20頭以上層で急激に低下している。また生産原価は規模が大きくなるほど一貫して下がっている（図1-3）。

図1-3 経営規模別の労働費、当期生産費用、生産原価（千円）



5) 他統計との比較

畜産物生産費に関する比較は、調査戸数が少ないこと、調査方法、定義等が異なっており、必ずしも正確な比較は困難であるが参考までに整理した。

本調査の結果は、畜産物生産費調査の結果に近い結果であった。

表 1 - 5 生産費の他統計との比較

調査名（機関名）	項目名称	単位	生産費（円）
本調査 褐毛和種繁殖経営	生産原価	子牛の正常出荷・自家保留頭数 1 頭当たり	534, 405
畜産経営診断全国集計 肉用牛（繁殖） （中央畜産会）	売上原価	肥育牛 1 頭当たり	378, 296
農業経営統計調査 肉用牛生産費—子牛 （農林水産省）	全算入生産費	肥育牛 1 頭当たり	564, 273

## 2. 肥育経営

調査・集計事例数：25 件

### 1) 経営の概要（1 戸当たり）

肥育牛飼養頭数は全国平均で 79.5 頭、そのうち褐毛和種が 72.2 頭、農業労働力は 2.9 人、経営耕地面積 659a、農業収入は 44,176 千円（うち肉用牛収入は 35,805 千円）であった。

北海道と県でそれぞれみてみると、褐毛和種の肥育頭数では県が北海道の 2.2 倍と大きく、農業収入でも県が 2 割弱高い。農業収入のうちの肉用牛収入で比較しても北海道に比べて県が 5 割強高くなっている。県の方が農業収入における肉用牛収入の依存度が高いことになる。

表 2－1 肥育経営の概要（1 戸当たり）

	肥育牛飼養頭数(頭)		農業就業者 (人)	経営耕地 面積(a)	牧草地(a)	農業収入(千円)	
		うち 褐毛和種					うち 肉用牛
全国	79.5	72.2	2.9	659	1,046	44,176	35,805
北海道	57.0	42.2	3.1	1,075	2,600	40,215	27,466
県	94.6	92.3	2.7	383	10	46,817	41,364

### 2) 生産原価（出荷肥育牛 1 頭当たり）

出荷肥育牛 1 頭当たりの当期生産費用は、全国平均で 777 千円で、地域別には、北海道が 875 千円、県平均が 711 千円であった。北海道は県平均に比べて 23.1% 高かった。

表 2－2 生産原価（出荷肥育牛 1 頭当たり）

(単位:円)

区分	飼料費			もと 畜費	労働費	減価 償却費	その他	当期 生産費用	生産原価
	購入	自給	計						
全国	265,110	15,074	280,184	246,116	120,453	42,141	87,878	776,772	763,713
北海道	296,520	30,599	327,119	196,530	157,734	71,192	122,780	875,356	807,909
県	244,170	4,721	248,891	283,769	95,598	22,773	60,017	711,049	734,248

また、当期生産費用に1年間の評価額の増減と支払利子、支払地代を加えた生産原価は、全国で764千円であったが、北海道は県に比べ10%高い約808千円という結果であった。

当期生産費の費用構成割合をみると、全国平均で最も比率が高いのは飼料費で36.1%、ついでもと畜費が31.7%、労働費は15.5%であった。北海道では飼料費の割合が最も高く、もと畜費の比率は県に比べても17ポイントも低かった。県ではもと畜費比率が39.9%と飼料費のそれを上回った。

表2-3 当期生産費に占める各費用の比率

単位：%

	飼料費	もと畜費	労働費	減価償却費	その他	当期生産費用
全国	36.1	31.7	15.5	5.4	11.3	100.0
北海道	37.4	22.5	18.0	8.1	14.0	100.0
県	35.0	39.9	13.4	3.2	8.4	100.0

### 3) その他の経営実績

#### ①肥育日数

褐毛和種の肥育状況をみると、肥育開始時月齢は雌では北海道で9カ月齢、県では7カ月齢で、去勢・雄は北海道、県ともに10カ月齢であった。また、肥育日数は雌では北海道で平均398日、県では平均375日で県のほうが23日短く、去勢・雄では県のほうが80日長い結果となっている。

#### ②増体重

肥育開始時体重は、雌では北海道が244kgに対して、県では218kgと26kgと小さいが、去勢・雄では301kgと300kgでほとんど変わらない。出荷時体重では、雌では北海道が607kgと県の500kgを107kgも上回っているのに対して、去勢・雄ではそれぞれ757kg、747kgと10kgの差でしかない。

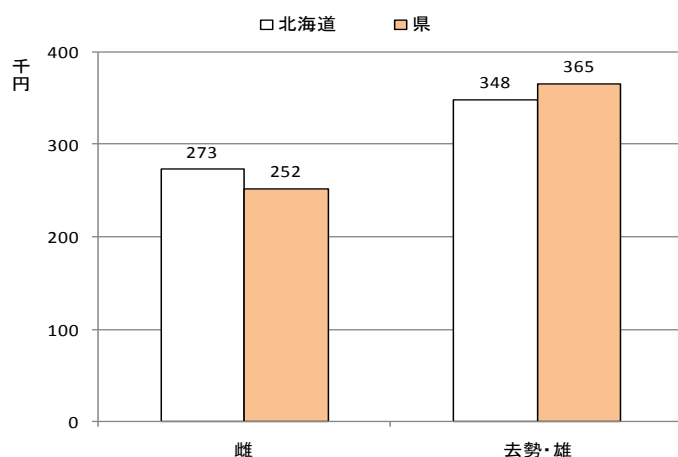
1日当たり増体重は雌の北海道0.8kgであるのに対して、県では0.6kgと県が低く、去勢・雄でも北海道が1.0kgであるのに対して、県では0.9kgと低い。

#### ③1頭当たりの所得

もと畜取得価格は雌では、北海道175千円に対して、県では約1万円強安い163千円であった。しかし、去勢・雄については北海道が237千円に対して、県では280千円と約4万円強高い取得価格を示している。

一方、販売価格は、雌では北海道で447千円に対して県では414千円であった。去勢・雄では北海道で586千円に対して、県では646千と6万円強高く売っている。

図 2-1 販売価格ともと畜取得価格の差 (単位:千円)



この結果、販売価格ともと畜取得価格の差額は、雌では北海道は272,686円で、県では、251,798円と北海道が高かった。一方、去勢・雄では、北海道が348,478円であるのに対して県では365,472円と県の方が17,994円高かった。

なお、労賃を差し引いた年間経常所得（出荷肥育牛1頭当たり）では、北海道では14,997円に対して、県平均では57,902円と県の方が42,905円高い結果であった。

表 2-4 その他の経営実績

区分		単位	全国	北海道	県
1頭当たり所得		円	40,740	14,997	57,902
年間出荷頭数	雌	頭	9.0	16.0	5.0
	去勢・雄		48.0	32.0	58.0
販売価格	雌	円	427,583	447,249	414,473
	去勢・雄		621,810	585,600	645,950
もと牛取得価格	雌	円	167,430	174,563	162,675
	去勢・雄		263,135	237,122	280,478
肥育開始時月齢	雌	月	8	9	7
	去勢・雄		10	10	10
肥育開始時体重	雌	kg	229	244	218
	去勢・雄		301	301	300
出荷時月齢	雌	月	20.2	22.0	18.9
	去勢・雄		25.3	24.2	26.0
出荷時体重	雌	頭	542.8	606.8	500.2
	去勢・雄		751.1	757.1	747.1
肥育日(月)数	雌	日(月)	384.2	397.8	375.2
	去勢・雄		485.2	436.9	517.3
1日当たり増体重	雌	kg	0.7	0.8	0.6
	去勢・雄		1.0	1.0	0.9
平均枝肉単価	雌	円	957.4	1,018.9	916.3
	去勢・雄		1,239.4	1,189.3	1,272.9

北海道は1日当たり増体重など生産技術の面では優れているが、販売時の価格形成で雌は北海道が高いものの去勢・雄では低い。

なお、平均枝肉単価では、雌では北海道が103円県より高いが、去勢・雄では84円北海道が安い結果であった。

#### 4) 肥育牛の頭数規模別動向

前提として、調査戸数が25戸であることと、北海道と県とでは生産構造に差がみられることから、頭数規模分類による集計と分析は必ずしも適切ではないが、参考までに集計をし、概観してみる。

まず、経営面では、繁殖・肥育一貫経営では頭数規模が大きくなるほど繁殖用の成雌牛頭数が減少する傾向にあり、肥育重点の経営にシフトする傾向がみられる(別表2-2)。また、耕地利用の面では、100~149頭階層で自己有地、借地とも牧草地の利用が高い(別表2-3)。山林や原野の利用は50~99頭階層で顕著であった(別表2-3)。

一方、生産費の面では、まず、当期生産費用の36%を占める飼料費は規模階層が大きくなるほど自給飼料割合を下げ、購入飼料依存を強めている。

表2-5 頭数規模別にみた肥育経営における自給飼料費の割合

	自給飼料費(円)	購入飼料費(円)	自給飼料割合(%)
~49頭	23,014	257,123	8.2
50~99	17,357	303,857	5.4
100~149	13,464	234,522	5.4
150頭以上	5,782	277,824	2.0
計	15,073	265,110	5.4

また、当期生産費に占めるもと畜費は全国平均で32%を占めているが、規模が大きくなるほど自家振替から購入に依存する傾向がみられる(別表2-5)。肥育牛1頭当たりの年間飼養管理労働時間は49頭以下階層で最も高く、規模が大きくなるにつれて少なくなり150頭以上階層では、49頭以下階層の3分の1であった(別表2-6)

直接的なコストである当期生産費では、49頭以下階層で最も高く、100~149頭階層が最も低く、150頭規模階層ではやや高くなっている。

なお、出荷肥育牛1頭当たりの年間経常所得をみると、50~99頭階層で最も高く77,748円であったが、規模が大きくなるほど低下し、また49頭以下階層ではマイナスとなっている。

### 5) 他統計との比較

畜産物生産費に関する比較は、調査戸数が少ないこと、調査方法、定義等が異なっており、必ずしも正確な比較は困難であるが参考までに整理した。

本調査の結果は、2つの調査のほぼ中間的な位置にある。

表 2 - 6 生産費の他統計との比較

(単位：円)

調査名（機関名）	項目名称	単位	生産費（円）
本調査 褐毛和種肥育経営	生産原価	肥育牛・正常出荷頭 数1頭当たり	763,713
畜産経営診断全国集計 肉用牛（繁殖） （中央畜産会）	売上原価	肥育牛1頭当たり	606,989
農業経営統計調査 肉用牛生産費－去勢若齢肥 育牛 （農林水産省）	全算入生 産費	肥育牛1頭当たり	869,092



## II 集計結果表

別表 1-1 家族及び労働力（褐毛和種繁殖経営）

（単位：戸、歳、人、日、％）

区分	集計戸数	経営主年齢	家族員数	農業従事（家族）						農業従事（常雇）						
				男			女			男			女			
				人数	日数	うち肉用牛	人数	日数	うち肉用牛	人数	日数	うち肉用牛	人数	日数	うち肉用牛	
飼養頭数 規模別	～9頭	6	53.8	1.8	1.3	331.7	114.1	0.5	110.5	6.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	10～19	11	59.8	3.0	1.7	353.6	254.3	1.3	218.5	77.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	20～29	5	57.2	2.4	1.4	235.7	145.8	1.0	186.6	96.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	30頭以上	3	56.0	3.0	2.3	350.0	261.7	0.7	108.3	63.5	0.7	60.8	60.8	0.0	0.0	0.0
	計	25	57.4	2.6	1.6	324.3	199.8	1.0	173.0	62.5	0.1	7.3	7.3	0.0	0.0	0.0
地域別	全国	25	57.4	2.6	1.6	324.3	199.8	1.0	173.0	62.5	0.1	7.3	7.3	0.0	0.0	0.0
	北海道	7	58.3	2.6	1.4	352.0	157.0	1.1	235.6	81.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	県	18	57.1	2.6	1.7	313.6	216.5	0.9	148.6	55.0	0.1	10.1	10.1	0.0	0.0	0.0

区分		農業従事（臨時雇）			
		男		女	
		延べ日数	うち肉用牛 （％）	延べ日数	うち肉用牛 （％）
飼養頭数 規模別	～9頭	0.0	0.0	0.0	0.0
	10～19	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29	0.0	0.0	0.0	0.0
	30頭以上	33.3	0.0	0.0	0.0
	計	4.0	0.0	0.0	0.0
地域別	全国	4.0	0.0	0.0	0.0
	北海道	14.3	0.0	0.0	0.0
	県	0.0	0.0	0.0	0.0

別表1-2 常時飼養頭数（褐毛和種繁殖経営）

（単位：頭）

区分		褐毛和種						その他品種						
		成雌牛	育成牛	子 牛			肥育牛	成雌牛	育成牛	子 牛			肥育牛	
				去勢・雄	雌	計				去勢・雄	雌	計		
飼養頭数 規模別	～9頭	5.4	0.3	0.8	1.3	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	10～19	14.4	0.5	4.1	3.9	8.1	0.0	1.6	0.3	0.6	0.7	1.3	0.0	
	20～29	20.7	1.8	5.1	4.5	9.6	0.0	1.3	0.4	0.5	0.3	0.8	0.0	
	30頭以上	54.8	5.6	13.8	14.1	27.9	0.7	9.8	0.2	2.6	2.9	5.5	0.0	
	計	18.4	1.3	4.7	4.6	9.3	0.1	2.2	0.3	0.7	0.7	1.4	0.0	
地域別	全国	18.4	1.3	4.7	4.6	9.3	0.1	2.2	0.3	0.7	0.7	1.4	0.0	
	北海道	21.4	2.1	5.0	5.0	10.1	0.3	6.3	0.5	2.0	2.0	4.0	0.0	
	県	17.2	1.0	4.6	4.5	9.0	0.0	0.6	0.2	0.2	0.2	0.4	0.0	

別表1-3 経営供用土地面積（褐毛和種繁殖経営）

（単位：a）

区分		自己所有地								借地							
		耕 地			牧草地	野草地	肉用牛 部門敷地	山林	原野	耕 地			牧草地	野草地	肉用牛 部門敷地	山林	原野
		田	畑	計						田	畑	計					
飼養頭数 規模別	～9頭	305	29	334	63	67	17	1,453	0	178	20	198	326	0	0	0	0
	10～19	200	112	311	361	459	47	139	390	126	158	284	164	0	0	0	0
	20～29	549	29	578	256	0	37	180	246	52	3	55	360	0	0	0	0
	30頭以上	183	43	227	500	0	43	0	0	37	20	40	833	0	0	0	0
	計	293	67	360	285	218	38	446	221	113	77	188	322	0	0	0	0
地域別	全国	293	67	360	285	218	38	446	221	113	77	188	322	0	0	0	0
	北海道	677	42	720	629	0	49	261	42	308	7	316	1,108	0	0	0	0
	県	143	77	220	151	303	33	518	291	37	105	139	17	0	0	0	0

区分		共同利用地							
		耕 地			牧草地	野草地	肉用牛 部門敷地	山林	原野
		田	畑	計					
飼養頭数 規模別	～9頭	0	0	0	0	0	0	0	300
	10～19	0	136	136	0	0	0	0	0
	20～29	0	0	0	0	1,400	0	0	0
	30頭以上	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	60	60	0	280	0	0	72
地域別	全国	0	60	60	0	280	0	0	72
	北海道	0	0	0	0	0	0	0	0
	県	0	83	83	0	389	0	0	100

別表 1-4 農家の収入（褐毛和種繁殖経営）

（単位：千円）

区分		農 業 収 入							果樹	合計
		肉牛部門収入		その他の畜産収入	耕 種 収 入					
		牛の販売	その他		水稻	麦	野菜	その他		
飼養頭数 規模別	～9頭	971	204	1,105	5,451	0	1,759	2,144	0	11,633
	10～19	3,981	624	0	1,896	0	1,697	1,645	0	9,842
	20～29	4,970	1,734	2	4,912	0	503	3,204	0	15,264
	30頭以上	12,948	2,396	3,813	1,042	0	0	720	0	20,919
	計	4,532	958	723	3,250	0	1,269	1,965	0	12,686
地域別	全国	4,532	958	723	3,250	0	1,269	1,965	0	12,686
	北海道	5,857	1,817	2,530	9,957	0	3,558	6,251	0	29,969
	県	4,017	624	21	642	0	379	299	0	5,964

別表 1-5 当期生産費用及び生産原価（出荷・保留子牛 1 頭当たり）（褐毛和種繁殖経営）

（単位：円）

区分	当該			その他の品種		購入飼料費	自給飼料費				敷料費		労働費		
	子牛正常 出荷頭数	自家保留 頭数	肥育牛 出荷頭数	子牛正常 出荷頭数	自家保留 頭数		種苗費	肥料費	有市備物	その他	購入	自給	雇用	家族	計
飼養頭数 規模別	～9頭	3.5	0.3	0.0	0.0	67,989	5,265	4,213	900	435	4,307	0	0	212,696	212,696
	10～19	11.0	0.6	0.0	1.5	93,453	10,853	5,438	6,606	704	12,651	0	568	186,372	186,941
	20～29	12.2	2.0	0.0	1.6	149,204	2,809	2,360	3,150	20,429	6,172	0	0	118,643	118,643
	30頭以上	35.0	6.0	0.0	7.7	101,518	6,081	12,348	6,490	79	4,505	0	11,931	65,108	77,040
	計	12.3	1.5	0.0	1.9	99,460	7,331	5,358	4,531	4,510	8,375	0	1,682	164,593	166,274
地域別	全国	12.3	1.5	0.0	1.9	99,460	7,331	5,358	4,531	4,510	8,375	0	1,682	164,593	166,274
	北海道	13.0	2.4	0.0	6.0	77,324	389	3,889	0	14,964	19,613	0	0	195,957	195,957
	県	12.1	1.1	0.0	0.3	108,068	10,030	5,929	6,294	444	4,005	0	2,336	152,395	154,731

区分	もと牛費		診療 医薬品費	光熱水費	機械用燃 料 油 費	種付費	減価償却費				成牛処分利益			
	購入	自家転替					家畜	建物 構築物	機械具 車 両	草地	計	益	損	
飼養頭数 規模別	～9頭	4,762	0	4,578	5,051	16,871	8,639	43,140	17,214	21,231	0	81,584	1,732	8,372
	10～19	9,861	0	8,632	6,262	18,301	10,834	46,730	10,337	48,677	0	105,744	5,793	689
	20～29	39,082	0	9,177	5,976	13,280	11,941	37,804	18,685	15,408	0	71,896	1,891	529
	30頭以上	29,180	0	12,180	3,639	16,474	5,757	47,849	6,626	12,412	0	66,887	4,225	2,443
	計	16,800	0	8,194	5,599	16,734	9,920	44,217	13,211	31,084	0	88,513	3,850	2,711
地域別	全国	16,800	0	8,194	5,599	16,734	9,920	44,217	13,211	31,084	0	88,513	3,850	2,711
	北海道	31,578	0	9,294	8,537	15,161	12,595	51,374	23,992	39,388	0	114,754	2,280	6,633
	県	11,053	0	7,766	4,457	17,346	8,879	41,434	9,019	27,855	0	78,308	4,460	1,186

区分	生産管理費	修繕費	小農具費	消 耗 諸材料費	賃料金 その他	租税公課 諸負担	当期生産 費用 ①	期首飼養 牛評価額 ②	期中成牛 転替評価 額 ③	期末飼養 牛評価額 ④	期首・期 末 差引費用 ①+②- ③-④ ⑤	飼養物 備 額 ⑥	差引原価 ⑤-⑥-⑦	支払料子 ⑧	支払地代 ⑨	生産原価	
																⑦+⑧+⑨	
飼養頭数 規模別	～9頭	7,831	19,331	2,057	2,214	42,005	21,417	518,785	185,042	11,667	116,987	575,173	1,600	573,573	1,686	5,269	580,528
	10～19	14,654	18,110	5,818	10,336	35,622	4,858	560,574	253,879	19,108	223,241	572,104	656	571,449	1,976	6,253	579,677
	20～29	7,182	15,889	448	3,743	31,201	8,888	520,111	100,040	35,898	135,053	449,201	0	449,201	12,656	21,709	483,565
	30頭以上	1,542	20,166	1,718	13,645	14,953	6,764	399,184	57,584	44,461	55,134	357,174	3,387	353,787	1,816	5,290	360,893
	計	9,949	18,205	3,349	7,466	33,790	9,867	523,085	183,035	23,722	159,930	522,468	1,079	521,389	4,023	8,992	534,405
地域別	全国	9,949	18,205	3,349	7,466	33,790	9,867	523,085	183,035	23,722	159,930	522,468	1,079	521,389	4,023	8,992	534,405
	北海道	7,314	26,536	144	8,538	85,958	22,943	659,843	187,377	30,401	133,467	683,352	0	683,352	11,802	26,220	721,375
	県	10,973	14,966	4,596	7,048	13,502	4,781	469,902	181,346	21,125	170,221	459,902	1,499	458,404	998	2,293	461,694

別表 1-6 その他の経営実績（褐毛和種繁殖経営）

（単位：円、頭、ヵ月、kg、%、時間）

区分		成雌牛 1 頭当たり			出荷子牛 1 頭当たり						子牛事故率 事故頭数÷ 子牛常時頭数	成雌牛 1 頭当 たり年間飼養 管理労働時間
		年間 経常所得	年間出荷自家 保留子牛頭数	平均分娩間 隔	出荷時月齢		出荷時体重		販売価格			
					雌	去勢・雄	雌	去勢・雄	雌	去勢・雄		
飼養頭数 規模別	～9頭	-12,698	1.3	15.6	9.6	8.6	276.7	284.5	236,848	263,423	8.3	118.2
	10～19	-31,072	0.9	13.9	9.6	9.2	289.8	302.4	264,304	332,355	6.6	111.8
	20～29	18,266	0.7	13.4	9.8	9.7	299.6	317.3	262,217	318,461	2.1	69.3
	30頭以上	-24,186	0.7	12.8	10.4	9.6	302.0	310.7	290,981	334,161	8.3	49.0
	計	-15,968	0.9	14.0	9.7	9.3	290.1	303.6	260,498	317,582	6.3	97.3
地域別	全国	-15,968	0.9	14.0	9.7	9.3	290.1	303.6	260,498	317,582	6.3	97.3
	北海道	-118,347	0.9	13.6	9.2	8.6	307.6	308.2	258,563	315,495	1.1	70.5
	県	23,846	0.9	14.2	9.9	9.5	283.3	302.0	261,251	318,319	8.3	107.7

別表 2-1 家族及び労働力（褐毛和種肥育経営）

（単位：戸、歳、人、日、％）

区分	集計戸数	経営主年齢	家族員数	農業従事（家族）						農業従事（常雇）						
				男			女			男			女			
				人数	日数	うち肉用牛	人数	日数	うち肉用牛	人数	日数	うち肉用牛	人数	日数	うち肉用牛	
飼養頭数規模別	～49頭	7	60.0	2.4	1.6	430.9	335.1	0.9	139.1	97.7	0.0	0.0	0.0	0.1	42.9	42.1
	50～99	5	63.6	2.2	1.6	388.6	326.8	0.6	157.2	130.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	100～149	7	59.1	3.1	1.7	380.0	273.0	1.4	244.3	153.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	150頭以上	6	59.2	3.0	1.8	498.3	271.3	1.2	300.0	133.0	0.3	110.0	110.0	0.2	50.0	50.0
	計	25	60.3	2.7	1.7	424.4	300.8	1.0	210.8	128.4	0.1	26.4	26.4	0.1	24.0	23.8
地域別	全国	25	60.3	2.7	1.7	424.4	300.8	1.0	210.8	128.4	0.1	26.4	26.4	0.1	24.0	23.8
	北海道	10	58.9	3.1	1.7	420.8	345.4	1.4	255.0	210.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	県	15	61.2	2.5	1.7	426.7	271.0	0.8	181.3	73.5	0.1	44.0	44.0	0.1	40.0	39.7

区分	農業従事（臨時雇）				
	男		女		
	延べ日数	うち肉用牛（％）	延べ日数	うち肉用牛（％）	
飼養頭数規模別	～49頭	0.3	0.3	0.0	0.0
	50～99	0.0	0.0	0.0	0.0
	100～149	0.0	0.0	0.0	0.0
	150頭以上	0.0	0.0	0.0	0.0
	計	0.1	0.1	0.0	0.0
地域別	全国	0.1	0.1	0.0	0.0
	北海道	0.0	0.0	0.0	0.0
	県	0.1	0.1	0.0	0.0

別表 2-2 常時飼養頭数（褐毛和種肥育経営）

（単位：頭）

区分		褐毛和種						その他品種					
		成雌牛	育成牛	子 牛			肥育牛	成雌牛	育成牛	子 牛			肥育牛
				去勢・雄	雌	計				去勢・雄	雌	計	
飼養頭数規模別	～49頭	17.3	0.2	4.0	4.0	7.9	17.1	0.7	0.0	0.2	0.2	0.4	23.6
	50～99	22.6	1.1	8.8	6.9	15.7	34.1	5.6	0.3	1.1	1.2	2.3	0.0
	100～149	21.0	1.3	5.7	6.3	12.1	70.9	0.7	0.2	0.3	0.2	0.6	2.4
	150頭以上	10.9	0.5	2.2	1.4	3.6	169.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	計	17.8	0.8	5.0	4.6	9.6	72.2	1.5	0.1	0.4	0.4	0.7	7.3
地域別	全国	17.8	0.8	5.0	4.6	9.6	72.2	1.5	0.1	0.4	0.4	0.7	7.3
	北海道	33.6	1.4	9.0	9.8	18.8	42.2	3.8	0.3	0.9	0.9	1.8	14.8
	県	7.3	0.4	2.3	1.1	3.5	92.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3

別表 2-3 経営供用土地面積（褐毛和種肥育経営）

（単位：a）

区分		自己有地								借地							
		耕 地			牧草地	野草地	肉用牛部門敷地	山林	原野	耕 地			牧草地	野草地	肉用牛部門敷地	山林	原野
		田	畑	計						田	畑	計					
飼養頭数規模別	～49頭	52	295	347	617	0	64	186	0	7	185	192	238	0	0	143	0
	50～99	234	440	674	902	0	70	3,400	600	80	20	100	200	0	0	0	0
	100～149	94	455	549	1,320	0	56	643	357	2	296	298	754	0	0	0	0
	150頭以上	348	119	468	24	0	77	53	0	17	0	17	0	0	0	0	0
	計	171	327	498	728	0	66	925	220	23	139	161	318	0	0	40	0
地域別	全国	171	327	498	728	0	66	925	220	23	139	161	318	0	0	40	0
	北海道	46	682	728	1,805	0	92	1,210	450	0	347	347	795	0	0	100	0
	県	255	90	345	10	0	49	735	67	38	0	38	0	0	0	0	0

区分		共同利用地							
		耕 地			牧草地	野草地	肉用牛部門敷地	山林	原野
		田	畑	計					
飼養頭数規模別	～49頭	0	0	0	0	0	0	0	0
	50～99	0	0	0	0	0	0	0	0
	100～149	0	0	0	0	0	0	0	0
	150頭以上	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0
地域別	全国	0	0	0	0	0	0	0	0
	北海道	0	0	0	0	0	0	0	0
	県	0	0	0	0	0	0	0	0



別表 2-4 農家の収入（褐毛和種肥育経営）

（単位：千円）

区分		農 業 収 入							果樹	合計
		肉牛部門収入		その他の 畜産収入	耕 種 収 入					
		牛の販売	その他		水稻	麦	野菜	その他		
飼養頭 数規模 別	～49頭	15,299	3,547	137	136	696	2,076	0	0	21,844
	50～99	18,258	3,346	0	60	551	0	1,224	0	23,434
	100～149	38,500	6,057	0	625	432	2,003	2,651	0	50,268
	150頭以上	71,207	6,496	0	341	0	1,323	80	0	80,407
	計	35,805	4,983	38	307	426	1,460	1,006	0	44,176
地域別	全国	35,805	4,983	38	307	426	1,460	1,006	0	44,176
	北海道	27,466	6,661	0	404	1,058	2,824	2,468	0	40,215
	県	41,364	3,976	64	243	5	550	32	0	46,817

別表 2-5 当期生産費用及び生産原価（出荷肥育牛 1 頭当たり）（褐毛和種肥育経営）

（単位：円）

区分	褐毛和種			その他の品種			購入飼料費	自給飼料費				敷料費		労働費		
	子牛正常出荷頭数	自家保留頭数	肥育牛出荷頭数	子牛正常出荷頭数	自家保留頭数	種苗費		肥料費	有市価物	その他	購入	自給	雇用	家族	計	
飼養頭数規模別	～49頭	0.0	0.0	16.3	0.6	0.0	257,123	715	18,144	3,986	169	4,261	0	9,840	185,648	195,488
	50～99	0.0	0.0	27.8	3.2	0.4	303,857	4,221	12,813	0	323	10,565	0	0	149,261	149,261
	100～149	0.0	0.0	58.6	0.1	1.5	234,522	1,122	11,026	1,099	217	15,176	0	0	77,684	77,684
	150頭以上	0.0	0.0	105.2	0.0	0.0	277,824	513	4,193	226	850	5,853	0	21,969	36,832	58,801
	計	0.0	0.0	51.8	0.8	0.5	265,110	1,482	11,737	1,478	377	9,094	0	8,028	112,425	120,453
地域別	全国	0.0	0.0	51.8	0.8	0.5	265,110	1,482	11,737	1,478	377	9,094	0	8,028	112,425	120,453
	北海道	0.0	0.0	36.3	2.1	1.2	296,520	2,814	26,585	769	431	18,625	0	0	157,734	157,734
	県	0.0	0.0	62.1	0.0	0.0	244,170	593	1,838	1,950	340	4,011	0	13,380	82,219	95,598

区分	もと牛費		診療医薬品費	光熱水費	機械用燃料油費	種付費	減価償却費				成牛処分損益			
	購入	自家振替					家畜	建物構築物	機械具車両	草地	計	益	損	
飼養頭数規模別	～49頭	107,249	96,511	6,882	7,016	14,209	4,351	0	19,718	25,466	0	45,184	1,116	2,762
	50～99	91,689	90,782	7,425	5,138	16,195	7,248	0	22,315	50,077	0	72,392	6,062	3,106
	100～149	216,808	68,241	4,029	3,596	10,581	2,267	0	13,107	23,549	51	36,706	3,289	1,386
	150頭以上	301,775	1,977	4,972	10,770	5,313	797	0	10,659	9,063	0	19,721	1,080	2,583
	計	181,500	64,616	5,733	6,584	11,455	3,494	0	16,212	25,915	14	42,141	2,705	2,402
地域別	全国	181,500	64,616	5,733	6,584	11,455	3,494	0	16,212	25,915	14	42,141	2,705	2,402
	北海道	62,982	133,548	6,228	4,972	19,591	6,583	0	27,094	44,062	35	71,192	5,969	2,420
	県	260,511	23,258	5,403	7,659	6,031	1,434	0	8,957	13,816	0	22,773	529	2,391

区分	生産管理費	修繕費	小農具費	消耗諸材料費	賃料料金その他	租税公課諸負担	当期生産費用	期首飼養牛評価額	期中成牛振替評価額	期末飼養牛評価額	期首・期末差引費用	副産物価額	差引原価	支払利子	支払地代	生産原価	
							①	②	③	④	①+②-③-④=⑤						⑥
飼養頭数規模別	～49頭	10,090	22,808	204	7,161	41,675	12,992	833,523	373,177	0	322,874	883,826	0	883,826	3,994	12,596	900,416
	50～99	9,159	24,777	1,056	11,534	21,391	18,459	843,350	306,396	0	326,719	823,028	0	823,028	2,435	241	825,703
	100～149	4,634	16,725	2,217	6,936	10,094	7,329	716,648	410,612	0	405,291	614,299	717	613,582	6,251	4,645	624,478
	150頭以上	5,011	10,890	2,157	1,288	1,428	9,601	725,224	547,012	0	561,950	710,286	0	710,286	2,375	2,347	715,008
	計	7,035	18,190	1,701	6,538	16,840	11,686	776,772	412,023	0	404,098	754,549	201	754,348	3,926	5,439	763,713
地域別	全国	7,035	18,190	1,701	6,538	16,840	11,686	776,772	412,023	0	404,098	754,549	201	754,348	3,926	5,439	763,713
	北海道	8,657	32,638	0	11,252	21,049	17,078	875,356	203,178	0	213,863	789,302	502	788,800	6,920	12,189	807,909
	県	5,876	8,902	1,701	3,172	12,164	8,091	711,049	551,253	0	530,921	731,381	0	731,381	1,929	939	734,248

別表 2-6 その他の経営実績（褐毛和種肥育経営）

（単位：円、頭、ヵ月齢、kg、日、回、時間）

区分	出荷肥育牛1頭当たり		肥育牛年間出荷頭数				出荷肥育牛1頭当たり				出荷肥育牛の平均肥育開始時				
	年間 経常所得	1日当たり 経常所得	全体		当該品種		平均販売価格		平均もと牛取得価格		月齢		体重		
			雌	去勢・雄	雌	去勢・雄	雌	去勢・雄	雌	去勢・雄	雌	去勢・雄	雌	去勢・雄	
飼養頭 数規模 別	～49頭	-2,399	-6	8	25	6	11	501,937	576,440	217,521	237,973	10	10	271	301
	50～99	77,748	189	8	20	8	20	414,824	591,357	111,218	187,702	8	10	209	292
	100～149	50,264	164	13	46	13	45	292,850	638,741	115,312	296,547	6	9	155	307
	150頭以上	49,117	95	8	99	7	98	508,658	680,366	216,640	316,371	8	9	294	300
	計	40,740	105	9	48	8	43	427,583	621,810	167,430	263,135	8	10	229	301
地域別	全国	40,740	105	9	48	8	43	427,583	621,810	167,430	263,135	8	10	229	301
	北海道	14,997	92	16	32	14	22	447,249	585,600	174,563	237,122	9	10	244	301
	県	57,902	113	5	58	5	57	414,473	645,950	162,675	280,478	7	10	218	300

区分	出荷肥育牛の平均出荷時				出荷肥育牛の平均								肥育牛事故率 事故頭数÷ 肥育牛常時頭数	肥育牛1頭当 たり年間飼養 管理労働時間			
	出荷時月齢		出荷時体重		肥育日数		頭1日当たり増体重(DC)		枝肉重量		枝肉単価				肥育回転率		
	雌	去勢・雄	雌	去勢・雄	雌	去勢・雄	雌	去勢・雄	雌	去勢・雄	雌	去勢・雄			雌	去勢・雄	
飼養頭 数規模 別	～49頭	25.5	25.8	672.6	723.2	474.7	474.8	0.8	0.9	431.7	454.9	1,074.4	1,198.9	10.7	10.4	5.1	124.2
	50～99	20.3	25.6	545.3	752.9	371.3	479.4	0.7	1.0	343.1	466.5	909.2	1,168.4	0.6	0.8	1.1	93.7
	100～149	14.1	25.0	392.4	781.9	258.5	472.5	0.5	1.0	247.7	482.0	659.4	1,239.9	0.5	0.8	2.3	45.9
	150頭以上	20.9	24.8	564.8	746.3	436.2	516.8	0.7	1.0	367.4	476.2	1,208.5	1,345.3	10.1	10.3	0.4	40.6
	計	20.2	25.3	542.8	751.1	384.2	485.2	0.7	1.0	347.0	469.9	957.4	1,239.4	5.7	5.8	2.4	76.1
地域別	全国	20.2	25.3	542.8	751.1	384.2	485.2	0.7	1.0	347.0	469.9	957.4	1,239.4	5.7	5.8	2.4	76.1
	北海道	22.0	24.2	606.8	757.1	397.8	436.9	0.8	1.0	390.2	482.9	1,018.9	1,189.3	0.7	0.8	2.9	90.9
	県	18.9	26.0	500.2	747.1	375.2	517.3	0.6	0.9	318.2	461.3	916.3	1,272.9	9.0	9.0	2.1	66.3

